

たくさんのおもしろい庄内に
出会える場所に。



「買い物だけでなく、芸術文化やスポーツの中心地も目指したいですね」と話す佐藤幸太さん(左)と菅原望美さん(右)は、ともに豊富な音楽経験を持つ。



S-MALL
株式会社 庄交コーポレーション
S-MALL事業部
住/鶴岡市錦町2-21
電/0235-24-5328
HP/http://happy-s-mall.com

で臨んだつもりだったんですが、ステージ発表の時間管理がうまくいかず、お客さまにご迷惑をかけてしまいました。経験を積んで、臨機応変に対応できるようにになりたいですね。

また、昨年末には吹奏楽とダンスのフラッシュモブを仕掛けた。「前々からやりたいと思っていて、たくさんの方に出演していただきました」と佐藤さん。「ダンスの方にメインで出演していたんだ」「T-Star Jam」という羽黒



「地域の方と一緒に、どれだけ楽しいことができるか。それをいつも考えていますね。」



「ヒカリの広場」の上にある大型モニターも、販売促進の重要なツールだ。

のチャダンスチームがあるんですが、全国大会で優勝したこともあるのに、地元ではあまり知られていません。イベントで人を集めることで、自社の利益だけでなく、地元でがんばっている人を紹介したり、地域全体の盛り上げに貢献していきたいんです。

S・MALLに出かける際は、1階中央の「ヒカリの広場」ものぞいてみてほしい。あなたの知らない、おもしろい庄内が見つかるかもしれない。



取材：鶴岡北高新聞部

Cradle 高校生編集部が行く
スゴハイ 12 特別編
SUGOI high school students in Shonai
Supported by
庄内広域行政組合、山形県庄内総合支庁

SUGOI REPORT
スゴ★レポ

高校生編集部が
地元企業の魅力発見！



鶴岡駅から歩いて10分ほど、60を超える専門店が入る商業施設「S・MALL」。昨年創業15周年を迎え、今や誰もが知っている場所となったが、「S・MALLで働く」と聞いて、仕事内容を明確にイメージできる人はあまりいないのではないだろうか。

「大きく分けると2つ、店舗管理と販売促進が私たちの仕事です」。丁寧な口調でそう教えてくれたのは、立ち上げ前からS・MALLを支えてきた部長の佐藤幸太さん。「店舗管理は、テナント企業と出賃を払ってS・MALLにお店を出してもらうわけですが、出店し続けてもらうためには一定以上の



「お客さまとの距離が近いことも、この仕事の大きな魅力です。」

売り上げが必要で、そのためにはたくさんのお客さまに買い物に来ていただく必要がある。そこで重要になってくるのが、販売促進なんです。

チラシやポスター、テレビCMなど、さまざまな販売促進がある中、今年度S・MALLではイベントに力を



入れてきた。有名アーティストのライブなど、県外からもファンが訪れるようなものだけでなく、地元民の発表の場となるものも数多く催された。中でも、昨年9月に開催された「まちなかアート鶴岡」は、大規模なものの一つだ。「文化会館が建築中だったこともあり、メイン会場としてご利用いただきました」。入社1年目で企画・運営に携わった菅原望美さんは言う。昨年東京からUターンし、合唱や吹奏楽などの経験があることから抜擢されたが、大変な部分も多かったようだ。「万全の準備

商業施設とレストラン。
地域と深く関わり合いながら、それぞれのフィールドで、
大好きな仕事を楽しむ大人たちを紹介します。

「酒田でしか味わえないフランス料理」を目指し、庄内の旬の食材を使った創作フランス料理を提供する「Restaurant Nico」。オーナーシェフ太田舟二さんのもとで働く2人の料理人にお話を伺った。「フランス料理は技法や理論が味に直結していて、覚えるたびにおいしいものができるようになっていく。そこがおもしろいですね」と話すのは、入社5年目の堀優歌さん。「料理全般に言えることですが、野菜や肉、魚という食材が、手をかけることでお客さまに喜んでいただける料理というかたちに



フランス料理のようなコース料理をつくるには、チームワークも大切だという。



「料理が好きではじめての仕事ですが、今はサーブも同じくらい好きですね。」

変わるのがおもしろいですね」。堀さんの発言に頷きながら、セカンドシェフを務める神林快暁さんが続ける。料理が好きでこの仕事に就いた2人。調理だけでなくサーブも行っているそうだが、それがさらなるやりがいにつながっているという。「自分でつくった料理がどんな風に食べていただいているのか、やっぱり気になるんですよ。それは調理場にはわからないことだし、私は将来独立を考えているので、レストランの仕事すべてを把握するという意味でも重要です。それに、お客さまが笑顔で『おいしい』と言っているのを見るのは、やっぱり嬉しい

料理がどんな風に食べていただいているのか、やっぱり気になるんですよ。それは調理場にはわからないことだし、私は将来独立を考えているので、レストランの仕事すべてを把握するという意味でも重要です。それに、お客さまが笑顔で『おいしい』と言っているのを見るのは、やっぱり嬉しい



「性格が似ているのか、つくる料理も近いテイストのものが多いです」と笑って話す堀優歌さん(左)と神林快暁さん(右)。



オープンしていない時間は、ひたすら仕込みをしているそう。



ですしね」。神林さんの言葉を聞き、堀さんも大きくうなずいた。

お店で出す料理は決められたメニューだが、自由に料理ができるタイミングがある。スタッフ交代でつくる食事、まかないの時間だ。「他のお店で食べておいしかった

たものにアレンジを加えたり、いろいろ試しています。和食とか中華とか、違うジャンルの料理がヒントになることもあるんですよ」と堀さんは楽しそうに教えてくれた。「いろんな料理を参考にしても、結局最終的にはその人の性格とか好みが出る。それも料理のおもしろいところですよ」と神林さんも笑う。

最後に、仕事選びについて質問

すると「飲食は、立ちつぱなしで大変だと思われがちですが、大変なのはどんな仕事も同じ。少しでも興味を持った仕事があれば思い込みで判断せずに、ネットなどで調べて少しでも詳しく知ってほしいですね」と神林さんは言った。「『やりたいこと』『やりたい職業』と考えず、生活の中にある好きなこと、楽しいと感じることという視点で、仕事を考えるといいと思います」と堀さん。



取材：酒田東高文芸部

Restaurant Nico

住／酒田市亀ヶ崎3-7-2
電／0234-28-9777
HP／<http://www.nico-sakata.com>



編集後記

小さい頃から何度も訪れている場所で、さまざまなお話が聞けて楽しかったです。また、ずっと気になっていたイベントの運営方法を聞くことができました。自分自身もS-MALLさんのイベントに参加したことがあるのですが、事業部の方の地元に対する想いもお聞きし、ぜひまた参加したいと思いました。(鶴北・りこ)

厨房を見学させていただいたり、とても楽しい時間でした。また、お2人のお話の節々から「料理が好き」という気持ちがあがってきて、素敵だなと感じました。就職してもなお努力を重ねていることを知り、私自身も実践していきたいと思いました。(酒東・ゆう)

編集部員&特ダネ まだまだ募集中!

「スゴハイ」の企画制作をやってみたい高校生、「こんなスゴい高校生知ってる」「私、スゴいんです」などスゴい高校生の情報は随時募集中です。お気軽にご連絡ください。

ご応募・お問い合わせ先
Cradle事務局
✉info@cradle-ds.jp

編集・文=Cradle高校生編集部、工藤 拓也
写真=関 真由美
協力=鶴岡北高等学校、酒田東高等学校